



# 御堂筋 の かたまり

絵・文 熱田親憲

大阪で最も地価の高いゾーンの梅田一丁目にある。傍らの石柱の正面に「渡邊リクルートビル」は「三界萬霊供養」、側面には「平成元年四月吉をうかがってみた。命地蔵尊が阪神百貨店に 日 渡邊新右衛門」とある。この地蔵さんは渡邊リ



これらの人々の霊を鎮める。リクルートの元社長、江副浩正氏と親交のある浦谷伯氏に、その起源をうかがってみた。

クルートビルの建設中に、地元の内会会長さんたちの提案により、17代渡邊新右衛門氏が資金を供出し建てられたものである。終戦直後、大阪駅前この地域は不法占拠によるヤミ市が林立し、争いごとでの殺人や麻薬中毒や飢えで死亡する人が毎日のように出たようである。粕取りと言われる粗悪な密造酒を浴びて、アルコール中毒で路上に倒れていた人もいたという。

## 初代渡邊新右衛門の心意気

「感じがする」と言ったという。それから19年後の今、大阪駅前は見事に変身し、いろいろなファッショビルが誕生して、ビジネスマンやOLのための街に集積されつつある。

この地蔵さんの御利益は今後も期待できそうである。建立資金を出された渡邊新右衛門の先祖、初代渡邊新右衛門は当時、なかなかの有力者で

め、地域の繁栄を願って建立されたのがこの延命地蔵尊である。この開眼式に立ち会ったある人が地蔵尊を見て、「霊が喜んでおり、成仏していく様が見えように見え

大阪人には、この歴史を重ねたDNAが流れているはずなのに、残念なことには伝統的スピリッツまで育っていない。いつの間にか大阪市、大阪府ともお役人王国になっては得意なはずであるが、

人々のために貢献された、府民として持ちたいようである。大阪では江門幕府につくらせた橋は高麗橋など少なく、行政任せ、お役所頼みを嫌い、自分たちの民力でカタチを作る歴史があった。

大阪人には、この歴史を重ねたDNAが流れているはずなのに、残念なことには伝統的スピリッツまで育っていない。いつの間にか大阪市、大阪府ともお役人王国になっては得意なはずであるが、

延命地蔵 延命・利生を誓願とする地蔵菩薩。新しく生まれた子を守り、短命、夭折の難を免れさせるという。左足を垂下する半跏像が多い。地蔵尊は地獄の苦しみから救済されるとされ、鎌倉時代から民衆に広まった。江戸時代には子ども救済の信仰が盛んになり「子安地蔵」として浸透した。延命地蔵もその一つ。